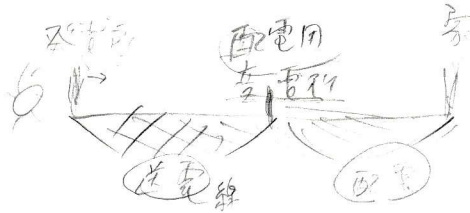


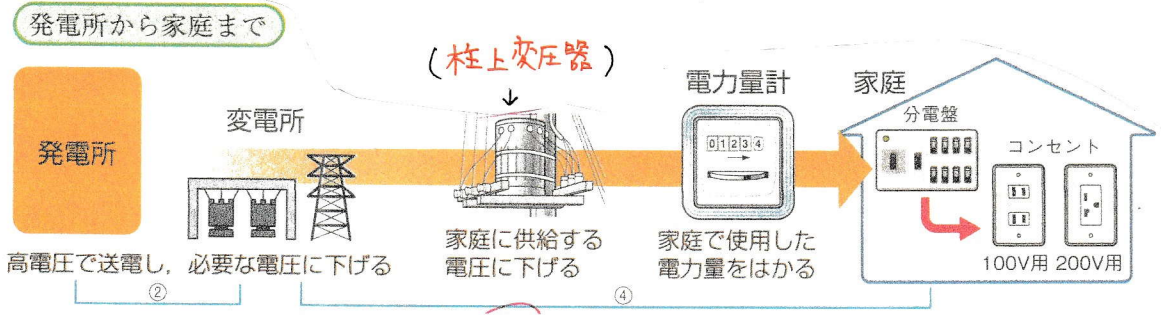
～ ここまで 確認問題 ～

① 電源の種類

- (1) 電池などの電源は、電流の向きが変わらない（**直流**）である。電池には、充電できない（**一次**）電池と、充電して繰り返し使える（**二次**）電池がある。
- (2) 発電所で作られる電気は、周期的に電流の向きが変わる（**交流**）で、（**変圧**）が簡単にできるので、少ないエネルギー損失でコンセントなどの電源に送ることができる。
- (3) 交流が1秒間にする変化の回数を（**周波数**）とよび、単位には（**ヘルツ**）が使われる。東日本では（**50**）Hz、西日本では（**60**）Hzである。



② 送電・配電



- （**送電**）… 発電所から（**配電用**）変電所まで電気を送ること。
- （**配電**）… （**配電用**）変電所から家庭や工場に電気を送ること。
- 多くの発電所と変電所を糸の目状に結ぶ（**送電線**）により、消費量に合わせて電気を安定して安全に供給できる。

- ④ 交流電源の周波数が東日本では50Hz、西日本では60Hzと違うのはなぜでしょうか。また境になつてゐる場所はどこですか。
- （ 明治時代に東日本側ではドイツより50Hzの発電機が輸入され、西日本側ではアメリカより60Hzの発電機が輸入されたため 境になつてゐる場所…（静岡県富士川と新潟県糸魚川あたり） ）